

2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月5日

上場会社名 株式会社篠崎屋 上場取引所 東
コード番号 2926 URL <http://www.shinozakiya.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 雅之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実 TEL 048-970-4949
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の業績(2024年10月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	772	4.2	32	79.5	33	79.9	20	57.4
2024年9月期第1四半期	740	7.2	17	-	18	-	13	△72.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	1.61	-
2024年9月期第1四半期	0.94	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	1,395	1,031	73.9
2024年9月期	1,285	1,010	78.6

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 1,031百万円 2024年9月期 1,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年9月期	-	-	-	-	-
2025年9月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2025年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当につきましては業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

3. 2025年9月期の業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をしてまいります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年9月期1Q	14,436,600株	2024年9月期	14,436,600株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	278,800株	2024年9月期	278,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年9月期1Q	14,157,800株	2024年9月期1Q	14,157,800株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概要	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当第1四半期累計期間において、商品につきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」を強化し、物価高騰の今後の対策として、顧客数の確保を第一に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高は772,198千円(前年同四半期比4.2%増)、営業利益は32,232千円(前年同四半期比79.5%増)、経常利益は33,345千円(前年同四半期比79.9%増)、四半期純利益は20,950千円(前年同四半期比57.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当セグメントにおいては「よりいいものをより安く」をコンセプトに「三代目茂蔵」ブランドのクオリティ向上を推し進めております。当第1四半期累計期間におきましては、「茂蔵オリジナル商品」の開発強化、利益率の見直しに努めました。具体的には弁当類・菓子類等を中心に店頭商品を最重要商品と位置づけ顧客数を維持しながら、商品単価の見直し、定価販売率の向上に努めてまいりました。

これらにより1店舗平均の顧客数は前年同四半期比94.8%となりました。時間帯別では前事業年度よりの朝市セール等を見直しながら終日での顧客数確保にも取り組んで参りましたが、販売価格の見直し等の影響もあり開店から14時までは同90.1%、17時から閉店までは同98.4%となりました。また、顧客単価につきましては販売価格の見直し等もあり、同111.5%となりました。

店舗につきましては、リモート会議にて販売スタッフとの情報共有を徹底することにより1店舗あたりの生産性向上を目指しました。

以上の結果、小売事業の売上高は688,760千円(前年同四半期比3.6%増)となりました。セグメント利益(営業利益)につきましては、顧客数の増減を慎重に判断しながら販売価格を見直した結果、売上総利益率が改善したことにより71,627千円(前年同四半期比40.4%増)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は83,438千円(前年同四半期比10.0%増)、セグメント利益(営業利益)は5,610千円(前年同四半期比70.0%増)となりました。

なお、当第1四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位:店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第1四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	30	—	—	30
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	392	4	7	389
合計		422	4	7	419

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して110,241千円増加し1,395,323千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加91,533千円及び商品及び製品の増加18,188千円、長期未収入金の減少9,402千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して89,291千円増加し363,701千円となりました。主な要因は、買掛金の増加80,027千円及び未払金の増加11,301千円、未払法人税等の減少10,120千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して20,950千円増加し1,031,621千円となりました。これは四半期純利益20,950千円の計上により利益剰余金が20,950千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては第2四半期中、及び通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	518,524	610,057
売掛金及び契約資産	56,817	66,315
商品及び製品	38,110	56,299
原材料及び貯蔵品	2,838	3,123
その他	67,113	68,435
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	683,364	804,190
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	21,017	20,034
構築物(純額)	2,820	2,679
工具、器具及び備品(純額)	5,506	5,820
土地	189,970	189,970
その他(純額)	1,514	1,365
有形固定資産合計	220,829	219,871
無形固定資産	3,129	2,889
投資その他の資産		
敷金及び保証金	104,958	104,973
長期未収入金	272,658	263,256
その他	429	429
貸倒引当金	△287	△287
投資その他の資産合計	377,758	368,371
固定資産合計	601,717	591,132
資産合計	1,285,082	1,395,323
負債の部		
流動負債		
買掛金	172,616	252,644
未払金	40,917	52,218
未払費用	35,209	38,192
未払法人税等	19,942	9,821
その他	3,024	6,125
流動負債合計	271,710	359,001
固定負債		
長期預り保証金	2,700	4,700
固定負債合計	2,700	4,700
負債合計	274,410	363,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,446	120,446
利益剰余金	△68,879	△47,929
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,010,671	1,031,621
純資産合計	1,010,671	1,031,621
負債純資産合計	1,285,082	1,395,323

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	740,799	772,198
売上原価	525,132	531,249
売上総利益	215,666	240,949
販売費及び一般管理費	197,711	208,716
営業利益	17,955	32,232
営業外収益		
受取利息	1,074	967
受取賃貸料	2,395	2,455
その他	10	123
営業外収益合計	3,480	3,546
営業外費用		
支払利息	28	—
賃貸費用	2,363	2,432
その他	511	0
営業外費用合計	2,903	2,432
経常利益	18,531	33,345
特別損失		
減損損失	—	6,611
店舗閉鎖損失	—	2
特別損失合計	—	6,613
税引前四半期純利益	18,531	26,732
法人税、住民税及び事業税	5,219	5,782
法人税等合計	5,219	5,782
四半期純利益	13,312	20,950

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費及びその他の償却費	2,170千円	2,068千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	664,927	75,871	740,799	—	740,799
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	664,927	75,871	740,799	—	740,799
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	664,927	75,871	740,799	—	740,799
セグメント損益	51,023	3,300	54,323	△36,368	17,955

(注) 1. セグメント損益の調整額△36,368千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	688,760	83,438	772,198	—	772,198
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	688,760	83,438	772,198	—	772,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	688,760	83,438	772,198	—	772,198
セグメント損益	71,749	5,610	77,359	△45,127	32,232

(注) 1. セグメント損益の調整額△45,127千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、6,611千円の減損損失を計上しております。